

会報

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



松田美枝さん 絵 (風)

第220回例会 1963.10.22 (火) 半晴

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

Person to Person
Club to Club
District to District

次回例会予定

10月29日 (火) スライド観賞会
国際奉仕委員会
11月5日 (火) 誕生会及び5分間スピーチ
会員有志

○出席報告

本日の出席	会員数 45名	出席数 37名	出席率 83.33%	欠席者	長谷川君、嶺岸君、 新徳君、佐藤(昇)君、 高橋君、鷺田君、吉村君、菅原君
前回の出席	前回出席率 85.42%	修正出席数 41名	修正出席率 91.67%	ミーティング	広瀬君 (東京東R.C.) 金井(勝)君 (山形R.C.) 大野君 (札幌R.C.)

○司会 斎藤副会長、池内会長
○ソング 奉仕の理想 リーダー 安藤君
○ゲスト 茗名 孝氏、笹原 桂一氏
小島 武氏、鈴木弥一郎氏

○ビジター

河上市平君 (浦和北R.C.)
江田 巖君 (山形R.C.)
渡辺龍郎君 (酒田R.C.)
菅原利郎君 (酒田R.C.)
佐藤吉蔵君 (酒田R.C.)

○報告並連絡事項

- 山大農学部助教授茗名孝先生が果実の研究でパリーのソルボンヌ大学に文部省より1年間の期間で遊学することになったので、パリー北R.C.会長宛に当クラブ会長よりメッセージを託し親善を深めることになった。
- 今間君より増設設備完成の工場見学並びに祝賀パーティーに全会員招待を受け、去る21日会員多数参加し今間製作所の御発展を祝した。
- オーストラリア、シングルトンR.C.会長C.F.レイハルター君より前会長佐藤伊和治君宛書翰あり、国際相互理解と親善を呼びかけられた。
(釈文は次回掲載予定)

○第350・352地区連合年次大会に出席して (斎藤栄作君の報告)

このたびの札幌大会は大変和やかななか、10月5日の前夜懇談会は札幌グランドホテルで、6日7日の大会は市民会館、懇親会は中島スポーツセンターで会員1,100名家族400名の参加が見られ、行き届いた会の運営に気持ちよいプログラムを運んだと思います。

前夜祭に提出された議題では、連合年次大会は3年に1回開かれるわけですが必ずしも隣接地区でなくとも遠隔地の地区と連合することもR.I.の許可があれば差支えないこと。職業分類について不明な分類は地区ガバナーが決定出来ること等が話われた。

大会では例の如く会長代理ロイド、ホリスター氏への記念品贈呈や直前ガバナーへの感謝状の贈呈の他に、地区対地区の親善決議、ホストクラブへの謝意表明或は札幌市へ出席会員1名500円宛の餞金を行ない記念品を贈呈することなどを決定した。

其の他1964年の次期トロント大会への提案議題の説明があり、会員の種類の単一化とか事務総長の任期を5年とする件、例会欠席による失格規定を資格を失う原因となると改める件、或は自己の所属するクラブへの出席を最低30%と規制する案など種々な議案を説明され、帰って各クラブでも研究するよう指示された。

更に青少年問題については専門家のタウンミーティングがあり、特にワンダーフオゲルについては余り難かしく考えずにコースの紹介とか安い旅館の斡旋の程度でよいという様な空気だった。ボーイスカウトを青少年の不良化防止にもつと役立てたい。等々の意見もあり仲々活発だった。

その他には奨学生やROTA派遣青年の報告などあり国際親善の実績の向上を知ることが出来た。

職業別協議会の医術部会には石黒君と共に出席した。こゝでは「医は仁術」とロータリーの「超我的奉仕」と相通ずる医術者の精神であるが現実の医療報酬では仲々うまく調和出来難い。これを如何に考えるべきかを論議された。結核社会では今でも医者は経済的に恵まれているから仁術を施せば良いと考えられ勝ちなので、折に触れ医療経済は殆んど行きつまって居り非常に危期にきていることをPRすべきだとのことだった。

(石黒慶之助君の報告)

私はこの度初めて大会に参加したので、その盛会振りや和やかな雰囲気や深い感銘を受け、更に札幌は20年前北大に研究した当時新婚生活をスタートした土地でもあり暫く振りの再会で恩師や知友の心からの歓迎を受け一層喜びを大きくしたわけである。

大会には352地区と友好関係にある181地区ガバナーの代理としてオーストリー大使館参事官ツイブラ氏や地区外のロータリアンも多数出席され親友を深め大会を一層盛大にした。

大会においては次期大会開催地に青森市を、またガバナーノミニーに青森クラブの斎藤堅治氏を選び満場一致でこれを可決した。

私は大会に出席して数多くの感銘を受けロータリアンとしての幸福をしみじみ味合い、札幌に来てよかつたと思つた。その中から二、三拾つて見よう。

村上ガバナーの挨拶の中に「3年前北海道と東北地方が分離した当時は東北に49クラブ1,800名の会員だったものが現在では77クラブ3,200名に増加している。吾々のロータリーはロータリーの歯車が永遠に止まることないように発展しつづけるだろう」と述べられた。

更にホリスター氏は「このような発展は58年前ポール・ハリスとその2・3人の友がシカゴでロータリーの優れた売込み組織を持っていたからではなく、ロータリーの基本方針が根本的に健全なものであるからである」と説明され、私は社会の第一線で多忙に働いている実業家

や職能人が奉仕の理想を目的に50万人も集うロータリーの偉大さに心から驚異をおぼえた。

茅先生の特別講演「科学技術の進歩と人間形成」の中では「科学の進歩により多数の原爆が保有され、精巧な人工頭脳が作られ、空にはジェット機が飛び交う宇宙時代となつたが、一方では人と人又は国と国の緊張が高まる時代となり、科学の進歩が果して人類の幸福をもたらしたであろうか。現在吾々に最も必要なものは何人にも出来る小さな親切でないかなと思う。小さな親切が行為の芽となつて周囲に拡がり皆で気持の良い社会を作りたい。関係のない人に無情であつてはならない。」と述べられ万場の共感を呼び起された。

最後に私は大会に出席し、ロータリーのスローガンたる「最もよく奉仕するものは最もよく利得する」の意味をおぼろげながら理解出来るようになったことを大きな収穫としている。それはホリスター氏のお話の中に「私は個人的な利得を離れて隣人に奉仕した時の満足感と温味を味合つたことのない人を憐みます」と言われたのですが、その中の満足感とか温味とかを味合うのがロータリーで云う「利得」であろうと知つたのです。自分は小さい存在であるが努力次第によつて前途に本当の幸せが待っているような気がしてならない。

○幹事報告

○会報到着 弘前東、本荘各R.C

○クラブ設立

米沢西R.C	例会日	毎週火曜日12.30~13.30
	例会場	レストランナポリ(門東町下の町)
	事務所	米沢商工会議所
秋田港仮R.C	例会日	毎週金曜日12.30~13.30
	例会場	旅館池鯉亭
	事務所	土崎港本山町池鯉亭内

○例会日・例会場臨時変更

気仙沼R.C	10月25日(金)の例会を26日(土)12.30~13.30に、会場振興相互銀行気仙沼支店
秋田東R.C	10月28日(月)の例会を17.30より開き会場を秋田クラブに変更。

○致道博物館より西郷南洲遺訓の書籍案内があつた。

○ニコニコ箱

お仕事多忙につき早退	男網君、荘司君 金井(勝)君
増設完成祝賀式典を終えて	今間君
地区大会に出席し感銘を受けて	石黒君
長年の調停委員で表彰を受け	三浦君

○本日の献立

さしみ(ひらめ)	天ぷら(えびのり)
汁(なまあげねぎ)	